

生まれてくる赤ちゃんを守るために！ 妊婦さんにRSウイルスワクチンを —2026年4月から定期接種が始まります—



■ RSウイルス感染症とは？

RSウイルスは、多くの子どもが2歳までに感染します。風邪のような症状から始まりますが、**細気管支炎や肺炎を起こし、入院することもあります。**

特に生後6か月以内に感染した場合に重症化しやすいと言われています。



■ なぜ母親にワクチンを打つの？

妊娠中にワクチンを接種すると、母親の体で作られた抗体が赤ちゃんへ移行します。

これにより**赤ちゃんが生まれた直後からRSウイルス感染症の重症化を予防**できます。



■ 定期接種は妊娠28週～36週の方が対象です

該当の方は原則無料で予防接種を受けられます。

接種時期は医師と相談してください。

定期接種を受けられる医療機関については**お住まいの市町村**にお問い合わせください。

詳しくはこちら：厚生労働省 RSウイルスワクチン
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/rs/index.html

